

1990年秋季年会

# 講演予稿集

於 仙台市民会館

1990年10月16日(火)~19日(金)

日本天文学会

# 日本天文学会 1990年 秋季年会 プログラム

月 日 1990年 10月 16日 (火)~19日 (金)

場 所 仙台市 仙台市民会館 〒980 仙台市青葉区桜ヶ岡公園 4-1

会場電話: (代) 022 (262) 4721

月 日	午 前				午 後							講演 番号
	9:15	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	
	分 野				分 野							
10月16日 (火)	A	×			恒 星				×			A 1-26
	B	×			銀河・銀河団				×			B 1-25
10月17日 (水)	A	恒 星			学 内 金 地 選 留 考 学 委 奨	恒 星				公 開 講 演 会		A 27-66
	B	銀河・銀河団				銀河・銀河団, 我々の 銀河系, 位置天文学				×		B 26-66
10月18日 (木)	A	天体力学, 宇宙論			理 事 会	宇宙論		デ ィ ス カ ッ シ ョ ン	臨 時 総 会		懇 親 会 (別 会 場)	A 67-94
	B	恒星, 太陽				太陽系			×			B 67-97
10月19日 (金)	A	観測機器・情報処理			理 事 会	観測機器・情報処理			×			A 95-130
	B	星間現象				星間現象			×			B 98-133

A会場: 会館 B1 小ホール, B会場: B1 展示室, ×: 使用しない時間帯

1. 今年の春季年会から会期を4日間としていますが, 第1日目(10月16日(火))は午後1時からとなります。休憩は, 1日目, 2日目, 4日目の午後に1回づつとすることにしました。
2. 講演割当時間は8分です。
3. ポスターセッション(P1~P19)は第3会議室です。なお, 第3日目(10月18日(木))午後3時30分~4時をディスカッション用時間帯と致しました。
4. Post-deadline papers はポスター発表とさせていただきます。
5. スライドは透視した時に正しい上下関係になるようにして, その手前側上方に講演番号と氏名, 映写順序番号を書き, 下縁に5mm位の赤線をつけて下さい。ビラは用いず, スライドまたはオーバーヘッドプロジェクターをご利用下さい。
6. 公開講演会(仙台市立天文台主催, 日本天文学会共催)を第2日目(10月17日)午後6時30分より, A会場にて行います。
7. 懇親会は第3日目(10月18日(木))午後6時から県労働福祉会館6F(清滝の間)で行ないます。

◎ 総会予告

第2日目(10月18日(木))午後4時よりA会場で臨時総会を開催します。

議題は「会費改訂について」です。

◎ 会場付近案内図は310頁に掲載してあります。

## 会場 A (B1 小ホール)

### 第1日 10月16日(火) 午後1時より 会場 A

- A 1 過安定層中の温度勾配: 梅津 実 (東北大理)  
A 2 Variations of Emission Line Profiles Due to Global One-Armed Oscillations of Be-Star Disks: 岡崎敦男 (京大理・北海学園大教養)  
A 3 Be 星  $\zeta$  Oph での質量放出現象と非動径振動: 神戸栄治 (国立天文台・東大理), 安藤裕康 (国立天文台), 平田龍幸 (京大理)  
A 4 恒星の脈動モード間の結合係数: 山川興世, 石田俊人, 竹内 峯 (東北大理)  
A 5 非線形二モード結合系と二重周期ケフェイド: 田中靖夫, 瀬谷啓二 (茨城大教育), 竹内峯 (東北大理)  
A 6 流体力学的ケフェウス型変光星模型の大気の運動: 石田俊人, 竹内峯 (東北大理)  
A 7 Supergiant Pulsations with Radiative Transfer: Jan Zalewski (東北大理)  
A 8 Post-AGB 星の流体力学的脈動模型: 相川利樹 (東北学院大)  
A 9 脈動炭素星 RU Cam の分光解析: 河野徹也, 平井正則 (福教大), 乗本祐慈 (国立天文台)  
A10 IRC+10216 での MgS, CaS, AlS 及び FeS の探査: 高野秀路, 山本 智, 斎藤修二 (名大理), 大石雅寿, 川口建太郎, 石川晋一, 海部宜男 (国立天文台)  
A11 特異炭素星の炭素同位体組成比 II. J 型星及びシリケート赤外放射を示す炭素星: 富岡千幸 (慶応義塾高), 辻 隆, 佐藤英男 (東大理 I A), 岡田隆史, 渡辺悦二 (国立天文台岡山)  
A12 バルジ天体からの SiO メーザーの性質: 山村一誠, 中田好一, 尾中 敬 (東大理), 出口修至, 浮田信治 (国立天文台野辺山), 泉浦秀行 (東京学芸大)

### 休 憩

- A13 ミリ波干渉計(NMA)による炭素星 V Hya の双極流の動力学的構造: 辻 隆 (東大理), 泉浦秀行 (東京学芸大), 出口修二 (国立天文台), 海野和三郎 (近畿大)  
A14 炭素星 CIT6 の星周分子ガス層の構造: CO (1-0) 輝線: 泉浦秀行 (東京学芸大), 浮田信治 (国立天文台野辺山)  
A15 光学的に厚いダストエンベロープモデル: 橋本 修 (成蹊大工), 上條文夫 (東大理)  
A16 質量放出星距離の色補正: 海野和三郎 (近大理工研)  
A17 惑星状星雲 NGC 7027 の高空間分解能観測: 出口修至, 柴田克典, 浮田信治, 川辺良平 (国立天文台野辺山), Nguyen-Q-Rieu (Obs. Paris), 山村一誠 (東大理)  
A18 PU Vul のバルマー輝線変化に伴う輻射輸送効果: 田村眞一<sup>1</sup>, 金光 理<sup>2</sup>, 山下泰正<sup>3</sup> (<sup>1</sup> 東北大理, <sup>2</sup> 福岡教育大, <sup>3</sup> 国立天文台)  
A19 タイプ Ic 超新星の progenitor のモデル: 山岡 均, 野本憲一 (東大理)  
A20 タイプ Ic 超新星 1987M のモデル: 野本憲一, A. V. Filippenko<sup>2</sup>, 茂山俊和<sup>1</sup> (<sup>1</sup> 東大理, <sup>2</sup> カリフォルニア大バークレー校)  
A21 高密度ヘリウム・炭素混合物質中の核反応率: 尾形修司, 家富 洋, 一丸節夫 (東大理)  
A22 高密度星中核反応に対する電子の遮蔽効果: 一丸節夫, 尾形修司 (東大理)  
A23 高密度物質の相転移と超新星爆発: 高原まり子 (同志社女子大), 高塚龍之 (岩手大人社), 佐藤勝彦 (東大理)  
A24 An Infrared Light Curve Model of SN 1987A: 茂山俊和<sup>1</sup>, 小笹隆司<sup>2</sup>, 熊谷紫麻見<sup>1</sup>, 野本憲一<sup>1</sup> (<sup>1</sup> 東大理, <sup>2</sup> マックス・プランク研究所)  
A25 超新星 1987A の光度曲線とパルサーキャビティモデル: 山田良透, 佐藤文隆 (京大理)  
A26 超新星爆発  $\nu$ ・バースト放出角分布の円統計検定: 北村 崇, 千川道幸 (近大理工研), 小西健陽, 辻 勝文 (近大数物), 小西幸子

### 第2日 10月17日(水) 午前9時15分より 会場 A

- A27 高密度物質の状態方程式と原始中性子星のニュートリノ放出: 鈴木英之, 佐藤勝彦 (東大理)  
A28 Ib 型超新星からのガンマ線・X線放射: 熊谷紫麻見, 茂山俊和, 野本憲一 (東大理)  
A29 レイリー・テイラー不安定のインバースカスケードの成長: 蜂巢 泉, 松田卓也 (京大工), 野本憲一, 茂山俊和 (東大理)  
A30 衝撃波に伴うレイリー・テイラー不安定の SPH コードによる計算: 鈴木知治, 茂山俊和, 野本憲一 (東大理), J. J. Monaghan (モナシュ大)  
A31 非球対称超新星爆発と流体力学不安定: 山田章一, 佐藤勝彦 (東大理)  
A32 回転平衡解からの非球対称超新星爆発: 石川真一郎, 山田章一 (東大理), 木口勝義 (近大理工), 佐藤勝彦 (東大理)  
A33 中性子星の冷却と  $\pi$  on 凝縮: 梅田秀之<sup>1</sup>, 野本憲一<sup>2</sup>, 鶴田幸子<sup>1</sup> (<sup>1</sup> モンタナ州立大, <sup>2</sup> 東大理)  
A34 中性子星の非径方向振動スペクトル: 家富 洋 (東大理), T. Strohmayer, H. M. Van Horn (Univ. of Rochester), 尾形修司, 一丸節夫 (東大理)

## 会場 B (B1 展示室)

### 第1日 10月16日(火) 午後1時より 会場 B

- B 1 重力多体問題専用計算機 GRAPE-1A: 福重俊幸, 伊藤智義 (東大教養)
- B 2 GRAPE-2 システムによるツリーコードの実行: 牧野淳一郎 (東大教養)
- B 3 場の振動による緩和現象: 船渡陽子, 牧野淳一郎 (東大教養)
- B 4 Merger Remnant の構造と明るい楕円銀河の形成: 奥村幸子, 戎崎俊一, 牧野淳一郎, 杉本大一郎 (東大教養)
- B 5 Hydrodynamical Interaction of Galaxies—Disk Encounters: 梅村雅之 (国立天文台), 吉岡 諭 (東京商船大), 川辺良平 (国立天文台野辺山), 奥村幸子 (東大教養)
- B 6 球状星団の形成機構 I: 隈井泰樹, B. Basu\*, 藤本光昭 (名大理, \*Univ. Calcutta)
- B 7 球状星団の形成機構 II: 藤本光昭 (名大理), B. Basu (Calcutta 大), 隈井泰樹 (名大理)
- B 8 無衝突恒星系のシミュレーション: Trace Back 法: 藤原隆男 (京都市立芸大)
- B 9 Fokker-Planck 方程式の改良の試み: 島田正章, 稲垣省五 (京大理)
- B10 1次元 mass sheets 系の緩和過程 II: 山城稔暢, 郷田直輝 (京大理), 阪上雅昭 (福井大教育)
- B11 非軸対称回転ガス体の分裂 (Fission): 立松芳典, 藤本光昭 (名大理)
- B12 回転遷移領域における自己重力ガスの運動: 福長正考 (東大理)

### 休 憩

- B13 円盤銀河の化学進化(II): 辻本拓司, 茂山俊和, 斉尾英行, 野本憲一 (東大理), 吉井謙 (国立天文台)
- B14 銀河ダイナモと星形成: 野桜俊也 (北大理)
- B15 AGN 磁気円盤の動力学: 松元亮治 (千葉大), 内田 豊, 広瀬重信 (東大理), 柴田一成 (愛知教育大)
- B16 活動的銀河核内高速雲の力学的進化: 横沢正芳 (茨大理)
- B17 輻射圧優勢な相対論的ジェットについて: 近藤正明 (専修大)
- B18 Galaxy Formation Efficiency in Cluster of Galaxies: Hattori, M. (Riken), Habe, A. (Hokudai)
- B19 Ring Galaxy NGC3646 の速度場と星形成率の観測: 吉田道利, 小杉城治, 大谷 浩 (京大理)
- B20 Maffei 2 の表面測光: 早野 裕<sup>1</sup>, 岡村定矩<sup>2</sup>, 浜部 勝<sup>2</sup>, 高遠徳尚<sup>1</sup>, 嶋作一大<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東大理, <sup>2</sup>東大理木曾)
- B21 晩期型棒渦巻銀河の表面測光: 太田耕司 (京大理)
- B22 IC 342 の分子ガスバーの全体構造: 石附澄夫\*, 石黒正人, 川辺良平 (東大理\*, 国立天文台野辺山)
- B23 渦状銀河 M51 の CO 観測 II 一分子ガスの速度構造一: 久野成夫 (東大理), 中井直正 (国立天文台野辺山), 半田利弘, 祖父江義明 (東大理)
- B24 系外銀河における  $N(H_2)/L_{\text{bol}}$  比: M51 の円盤部: 中井直正 (国立天文台野辺山), 久野成夫 (東大理)
- B25 分子雲リングのサイズ—銀河の距離インディケーター: 祖父江義明 (東大理センター)

### 第2日 10月17日(水) 午前9時15分より 会場 B

- B26 スターバースト銀河の蛍光水素分子 I. NGC 6240: 長谷川哲夫, 田中培生 (東大理), Ian Gatley (NOAO/国立天文台)
- B27 スターバースト銀河の蛍光水素分子 II. NGC 253: 田中培生, 長谷川哲夫 (東大理), 林左絵子 (国立天文台)
- B28 Molecular Gas in Galactic Nuclei: Starburst vs. Seyfert Galaxies: Yoshiaki Taniguchi<sup>1</sup>, Naomasa Nakai<sup>2</sup>, and Osamu Kameya (<sup>1</sup>Kiso Observatory, Institute of Astronomy, The University of Tokyo, <sup>2</sup>Nobeyama Radio Observatory, National Astronomical Observatory of Japan)
- B29 大 RM 銀河の VLA 観測: 井上 允 (国立天文台野辺山), 田原博人, 加藤龍司 (宇都宮大教育), 会津 晃 (立教大), G. Taylor, R. Perley (NRAO)
- B30 系外電波源の大 RM の統計: 会津 晃, 井上 允 (国立天文台野辺山), 田原博人, 加藤龍司 (宇都宮大)
- B31 CSS の偏波特性: 田原博人, 加藤龍司 (宇都宮大教育), 井上 允 (国立天文台), 会津 晃
- B32 「ぎんが」によるケンタウルスAの観測: 狩野貴子 (立教大理), 井上 一 (宇宙研)

## 会場 A (B1 小ホール)

- A35 中性子星表面のヘリウム爆轟波形成: 宮路茂樹 (千葉大教養), 岡田真江 (千葉大理)
- A36 近接連星系における降着流の3次元数値計算: 沢田恵介 (東北大流体研), 松田卓也 (京大工)
- A37 近接連星系における降着円盤外縁の「ひらひら」構造: 廣瀬雅人, 市川 晋, 尾崎洋二 (東大理)
- A38 矮新星における降着円盤の半径変化の数値実験: 市川 晋, 廣瀬雅人, 尾崎洋二 (東大理)
- A39 Emission Lines from Accretion Disc Atmospheres: Shin Mineshige and Janet H. Wood (IoA, Cambridge)
- A40 厚い降着円盤内での重元素合成: 橋本正章 (九大教養), 荒井賢三 (熊大理)
- A41 大きな降着率を持つ降着円盤の安定性: 本間文雄<sup>1</sup>, 松本亮治<sup>2</sup>, 加藤正二<sup>1</sup>, M. A. Abramowicz<sup>3</sup> (<sup>1</sup>京大理, <sup>2</sup>千葉大教養, <sup>3</sup>SISSA・Italy)
- A42 Super-critical Accretion: 矢吹富美子, 蓬茨靈運 (立大理)

### 第2日 10月17日(水) 午後1時より 会場 A

- A43 Dynamical Stability of Rotating Fluids in the Kerr Spacetime: 中山薫二 (京大理)
- A44 一本腕 corrugation 波の捕獲振動(再): 加藤正二, 本間文雄 (京大理)
- A45 QPOs in Luminous Accretion Discs: 奥田 亨<sup>1,2</sup>, 嶺重 慎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>I.O.A., Cambridge, U.K. <sup>2</sup>北教大函館分校)
- A46 中性子星磁気圏へのアクリーション: 花輪知幸 (名大理)
- A47 双極子磁場を持った星からの熱-遠心力風: 柴田晋平 (山形大理), 鷲見治一 (名大太陽地球環境研)
- A48 パルサー制動指数の観測値からの帰結: 鈴木 修, 工藤哲洋 (東北大理)
- A49 MSH 15-52 中のパルサーのX線観測(II): 岡保利佳子 (埼玉大・理研), 河合誠之 (理研)
- A50 パルサーの磁場の進化のシミュレーション: 佐藤尚宏, 若月滋人, 伊藤直紀 (上智大理工)
- A51 パルサーの銀河内分布: 若月滋人, 佐藤尚宏, 伊藤直紀 (上智大理工)
- A52 サイクロトロンサーベイの結果と解釈: 三原建弘, 牧島一夫, 上條俊介, 大橋隆哉, 田代 信 (東大理), 長瀬文昭, 田中靖郎 (宇宙研), 坂尾太郎 (国立天文台), ほか「ぎんが」チーム
- A53 X線パルサー Cen X-3 の鉄輝線: 竹島敏明, 長瀬文昭, 吉田健二, Day, Charles (宇宙研), 三原建弘 (東大)

### 休 憩

- A54 Reoutburst of The Be Star X-ray Transient Pulsar EXO 2030+37 Observed by Ginga: 孫 学軍, 河合誠之, 松岡 勝 (理研), 他「ぎんが」チーム
- A55 1E 2259+586 から観測されたライン構造: 岩澤一司, 小山勝二 (名大理), J. Halpern (Columbia Univ.)
- A56 サイクロトロン構造の新たな発見: 上條俊介, 牧島一夫, 三原建弘, 大橋隆哉, 田代 信 (東大理), 長瀬文昭, 田中靖郎 (宇宙研), 坂尾太郎 (国立天文台), ほか「ぎんが」チーム
- A57 X線星 GS 2023+338 の時間変動とその遅れのエネルギー依存性: 寺田健太郎, 宮本重徳, 北本俊二 (阪大理)
- A58 SS 433—「ぎんが」によるX線観測(1987-1990): 河合誠之, 松岡 勝 (理研), W. Brinkmann (マックス・プランク研究所), G. C. Stewart, H.-C. Pan (レスター大)
- A59 Cyg X-3 の鉄のKX線: 中村 浩 (埼玉大・理研), 松岡 勝 (理研), 山下廣順 (宇宙研), 北本俊二 (阪大) 他「ぎんが」チーム
- A60 New X-ray Sources near the Galactic Bulge Region: 山内茂雄, 小山勝二 (名大理)
- A61 「ぎんが」GBD が観測したガンマ線バースト GB 890929 のサイクロトロン線: 吉田篤正 (理研), 村上敏夫, 西村 純, 小賀坂康志 (宇宙研), Edward E. Fenimore (ロス・アラモス国立研) 他「ぎんが」GBD 班
- A62 ガンマ線バーストのエネルギー源: 村上敏夫 (宇宙研), 吉田篤正 (理研), GBD 班
- A63  $\gamma$ 線バーストの中性子星風モデル: 戎崎俊一 (東大教養)
- A64 ブラックホール回転エネルギー抜き取りに対する  $\Omega_F$  の効果: 岡本 功 (国立天文台)
- A65 ブラックホール磁気圏の進化と AGN モデル: 新田伸也, 高橋真聡, 富松 彰 (名大理)

## 会場 B (B1 展示室)

- B33 NGC 1068 の干渉計観測: 兼古 昇, 森田一彦 (北大理), 福井康雄, 高橋宣景 (名大理), 杉谷光司 (名市大), 中井直正, 森田耕一郎 (国立天文台野辺山)
- B34 NLXG NGC 7172 の JHK Imaging: 寒川尚人, 西田 稔 (京大理), 市川 隆 (一橋大)
- B35 セイファート銀河 NGC 4151 の Bar の測光: 大谷 浩, A. カリール (京大理)
- B36 NGC 4151 のバルマー輝線の変化: 綾仁一哉 (国立天文台), 前原英夫 (国立天文台岡山)
- B37 An Obscured Active Nucleus in the Type 2 Seyfert, NGC 4507: 小山勝二, 粟木久光 (名大理), “ぎんが” チーム
- B38 X-ray spectral changes in Seyfert galaxies: F. Fiore, M. Yamauchi, M. Matsuoka and G. C. Perola (理研)
- B39 地球回転観測用 VLBI 網による OJ287 の強度変化の観測: 藤下光身, 安田 茂, 原 忠徳 (国立天文台水沢)
- B40 KNIFE 基線での 22 GHz 帯連続波源の観測結果: 小山泰弘, 高羽 浩 (通信総研), 松本欣也 (電通大), 川口 則幸, 宮沢敬輔, 井上 允, 御子柴 廣, 森本雅樹 (国立天文台野辺山), 亀野誠二 (東大理), 藤下光身 (国立天文台水沢)
- B41 BL Lac 天体 PKS 0548-322 の X 線スペクトル観測: 田代 信, 大橋隆哉, 牧島一夫, 印田美香, 三原建弘 (東大理), 榎野文命, 紀伊恒男 (宇宙研), M. J. L. Turner (レスター大)

### 第 2 日 10 月 17 日 (水) 午後 1 時より 会場 B

- B42 3C 279 の Outburst の多波長観測: 紀伊恒男, 榎野文命 (宇宙研), 大橋隆哉 (東大理), 林田 清 (阪大理), M. J. L. Turner (University of Leicester), A. C. Sadun (Bradley Observatory), C. M. Urry (Space Telescope Science Institute), G. Neugebauer, K. Matthews (California Institute of Technology), H. Terasanta (Helsinki University of Technology), M. F. Aller (University of Michigan)
- B43 Ginga による NGC 1399 の観測: 池辺 靖, 大橋隆哉, 鶴 剛, 牧島一夫, 三原建弘 (東大理), G. Fabbiano (Harvard-Smithsonian Center for Astrophysics)
- B44 へびつかい座銀河団の X 線スペクトル: 加福佐和子 (埼玉大・理研), 山内 誠, 河合誠之, 服部 誠, 松岡 勝 (理研)
- B45 クェーサーの X 線スペクトルと X 線背景放射: 大橋隆哉, 牧島一夫 (東大理), 紀伊恒男, 榎野文命 (宇宙研), 林田 清 (阪大理), O. R. Williams, M. J. L. Turner (Leicester 大)
- B46 「ぎんが」による黄道北極および銀河北極付近のサーベイ観測: 近藤秀治, 井上 一, 吉田健二 (宇宙研), 田原 謙 (名大理), 大橋隆哉 (東大理), G. C. Stewart (レスター大) 他「ぎんが」チーム
- B47 渦状銀河の自転角運動量分布の統計: 家 正則 (国立天文台), 菅井 肇 (東大理)
- B48 Pisces-Perseus 超銀河団 IV.  $H_0$  分布と  $\Omega_0$ : 市川 隆 (一橋大), 福来正孝 (京大基研)
- B49 Coma Cluster の距離とハッブル定数 (II): 岡村定矩<sup>1</sup>, 福来正孝<sup>2</sup>, 樽沢賢一<sup>1</sup>, H. J. Rood<sup>3</sup>, B. Williams<sup>4</sup> (<sup>1</sup>東大理木曾, <sup>2</sup>京大基研, <sup>3</sup>プリンストン高等研究所, <sup>4</sup>デラウェア大)
- B50 銀河中心に存在するデカメートルパルサーとその起源: 大家 寛, 飯島雅英 (東北大理)
- B51 Frequency Dispersion of Electromagnetic Waves Escaping from our Galactic Center: M. Iizima and H. Oya (Tohoku University)
- B52 3 基線干渉計によるデカメートルパルサーの位置決定: 片瀬拓弥, 大家 寛, 飯島雅英, 森岡 昭 (東北大理)

### 休 憩

- B53 Schmidt 乾板全面測光による銀河構造の検証 II: 山縣朋彦, 吉井 謙 (国立天文台)
- B54 バルジ天体の分布の非対称性について: 中田好一, 尾中敬, 山村一誠, 斉尾英行 (東大理), 出口修至 (国立天文台野辺山), 泉浦秀行 (東京学芸大), 橋本 修 (成蹊大)
- B55 炭素星のサーベイ (2): 前原英夫 (国立天文台岡山), 征矢野隆夫 (東大理木曾)
- B56 銀河系の大局的 [CII] 158  $\mu\text{m}$  放射 (2): 芝井 広, 奥田治之, 中川貴雄 (宇宙研), 舞原俊憲, 水谷耕平 (京大理), 松原英雄 (名大理), 小林行泰 (東大理センター), 広本宜久 (通信総研), F. J. Low, 西村徹郎 (アリゾナ大)
- B57 局部銀河群の進化と高速度ガス雲の起源について: 土佐 誠, 上村左知子 (東北大理)
- B58 銀河系の磁場構造: 大野 寛, 柴田晋平 (山形大理)
- B59 Tokyo PMC による惑星の観測の解析 (III): 鈴木駿策, 相馬 充 (国立天文台)
- B60 惑星の位置観測値に現われる系統誤差 (位相効果による) の検討: 新美幸夫 (国立天文台)
- B61 チャンドラー揺動の Deconvolution: 若生康二郎, 石川利昭 (国立天文台水沢)
- B62 極運動と調和振動子との励起・減衰の関係: 関口直甫 (横浜国大教育)
- B63 水沢における天文経緯度変化とエルニーニョ: 阿部 茂, 岩館健三郎, 後藤幸夫 (国立天文台水沢)
- B64 時計比較値から求めた時刻比較の精度について: 堀合幸次 (国立天文台水沢)
- B65 国立天文台水沢の地球回転データベース: 佐藤イク, 石井 久, 後藤幸夫, 石川利昭 (国立天文台水沢)
- B66 基準電波座標系の構築について: 高橋幸雄 (通信総研)

## 会場 A (B1 小ホール)

A66 蛍光X線のラインプロファイル: 小嶋康史 (都立大理)

### 第3日 10月18日(木) 午前9時15分より 会場 A

- A67 ヤベツス軌道要素改良後の系統的残差: 畑中至純 (国立天文台)  
A68 Variations of Eccentricity in Higher Order Resonance: Tadashi Yokoyama and Jose M. Balthazar (UNESP, Brasil)  
A69 レゾナンスにある小惑星の軌道傾斜角の変化: 吉川 真 (東大理)  
A70 制限3体問題に中心力型の摂動力が作用するときの平衡解: 木下 宙 (国立天文台), 吉川 真 (東大理)  
A71 高次の symplectic 積分法の構成法: 吉田春夫 (国立天文台)  
A72 ケプラー運動の平均値の別証: 堀 源一郎 (東大理)  
A73 Wesson の高次元宇宙について: 福井尚生 (獨協大教養)  
A74 Soft Inflation: 前田恵一, A. Berkin (早大理工), 横山順一 (東大理)  
A75 インフレーション宇宙における位相的欠陥の生成: 長澤倫康, 横山順一, 佐藤勝彦 (東大理)  
A76 Perturbation of Coherent Large-Scale Structure: 麻生 修, Stefan Bildhauer, 葛西真寿, 二間瀬敏史 (弘前大理)  
A77 The Cosmic Microwave Background in a Globally Inhomogeneous Universe: Stefan Bildhauer, 二間瀬敏史 (弘前大理)  
A78 Possible Test for the Cosmological Constant with Gravitational Lenses (II): 葛西真寿, 二間瀬敏史 (弘前大理), 福来正孝 (京大基研)  
A79 Non Random-Gaussian Density Field in Cosmology: 須藤 靖 (京大基研宇治), 杉之原立史 (東大理)  
A80 Minimal Isocurvature Model による構造形成: 横山順一 (東大理), 須藤 靖 (京大基研宇治)  
A81 宇宙壁ネットワークの形成と成長: 石原秀樹, 南部保貞, 窪谷若人, 柴田 大 (京大理)

### 第3日 10月18日(木) 午後1時より 会場 A

- A82 Domain Wall 優勢宇宙における観測的關係: 富田憲二, 渡辺一也 (京大基研宇治)  
A83 宇宙背景輻射の大きな角度スケールでの非等方性と銀河形成問題: 郷田直輝, 杉山 直 (京大理), 佐々木 節 (京大基研宇治)  
A84 3K背景輻射のゆらぎへの Rayleigh 散乱の影響について: 佐々木 伸, 高原文郎 (都立大理)  
A85 原始ブラックホールを含む宇宙における元素合成: 荒井賢三 (熊大理), 橋本正章 (九大教養)  
A86 熱力学的  $f(N)$  から導かれる多体相関関数の制限: 稲垣省五 (京大理)  
A87 銀河の重力的集団化: 熱力学的理論と数値計算との比較 IV: 伊藤 誠, 稲垣省五 (京大理), W. C. Saslaw (ヴァージニア大)  
A88 Cold Dark Matter Model におけるハッブル定数の決定: 杉之原立史 (東大理), 須藤 靖 (京大基研宇治)  
A89 Homogeneous Spheroidal Model: Cosmological Density Parameter: 渡辺卓也, 稲垣省五 (京大理)  
A90 級数展開による密度ゆらぎの非線型解析: 鈴木洋一郎 (東大理), 池内 了 (国立天文台)  
A91 Expanding Minihalo Model of Lyman  $\alpha$  Forest II: 村上 泉 (東大理), 池内 了 (国立天文台)  
A92 線形密度ゆらぎの速度場の測定に及ぼす影響: 杉山 直 (京大理), 葛西真寿 (弘前大理), 佐々木 節 (京大基研宇治)  
A93 銀河の赤方偏移分布による宇宙論パラメータの制限: 山下和之 (京大理), 福来正孝 (京大基研), 高原文郎 (都立大理), 吉井 謙 (国立天文台)  
A94 S-520-10 号機による近赤外宇宙背景放射の観測: 野田 学, 松原英雄, 松本敏雄, 松浦周二, 野口邦男, 佐藤紳司 (名大理), 村上 浩 (宇宙研), V. Christov (Space Research Institute of Bulgaria)

### 第4日 10月19日(金) 午前9時15分より 会場 A

- A95 JNLT の 8m 級化について: 山下泰正, 成相恭二, JNLT WG (国立天文台)  
A96 JNLT 8.3m 鏡の支持法について: 林左絵子, 沖田喜一, 山下泰正, JNLT WG (国立天文台)  
A97 62cm 鏡能動光学 II (改良開制御モデル他): 三上良孝, 鳥居泰男, 野口 猛, 沖田喜一, 家 正則 (国立天文台), 伊藤 昇, 田畑真毅 (三菱電機)  
A98 JNLT ドーム建屋模型の水流実験: 宮下暁彦, 安藤裕康, L. Barr, JNLT 水流実験チーム (国立天文台), 坂田公夫, 進藤重美 (航空宇宙技術研), 谷口健一, 狩野和彦 (東海大工)

## 会場 B (B1 展示室)

### 第3日 10月18日(木) 午前9時15分より 会場 B

- B67 近接連星系における三次元降着円盤: 長沢幹夫(計算流体研), 松田卓也(京大工)
- B68 KAMIOKANDE-II における太陽ニュートリノの観測: 平田慶子(東大宇宙線研) 他, KAMIOKANDE-II Collaboration
- B69 太陽全輻射量の太陽周期変化について: 吉村宏和(東大理)
- B70 太陽活動に伴う太陽固有振動数の長期変化と太陽構造: 柴橋博資(東大理, UCSB)
- B71 太陽 p モードの線幅について: 尾崎洋二(東大理), S. M. Jefferies<sup>1</sup>, T. L. Duvall, Jr.<sup>2</sup>, J. W. Harvey<sup>2</sup>, M. A. Pomerantz<sup>1</sup> (<sup>1</sup> Bartol Research Institute, <sup>2</sup> National Solar Observatory)
- B72 白斑の温度最低層におけるジュール加熱: 平山 淳(国立天文台)
- B73 動きを伴う硬 X 線源について: 大木健一郎(国立天文台)
- B74 太陽フレアの軟 X 線フラックスと蒸発モデル: 日江井栄二郎(国立天文台)
- B75 崩壊期の活動領域の観測例 I: 秋岡真樹, 黒河宏企, 中井善寛, 牧田 貢, 船越康宏, 北井礼三郎(京大理), Huairou Group(北京天文台)
- B76 EFR におけるサージ活動のスペクトル解析: 河合吾郎, 黒河宏企, 花岡庸一郎(京大理天文台)
- B77 Chromosphere and Transition Region Response to Energy Deposition in the Middle Chromosphere: A. C. Sterling(京大理), K. Shibata(愛知教育大), Y. Suematsu(国立天文台), J. T. Mariska(NRL)
- B78 5分振動に伴う彩層輝点の形成について: 末松芳法(国立天文台)
- B79 5分振動とスピキュールの発生について III: 竹内彰継, 木村敏郎, 門脇 誠(米子高専), 末松芳法(国立天文台)
- B80 磁束浮上にもなう磁気リコネクション: 柴田一成, 野沢 恵(愛知教育大)
- B81 磁気シートの分裂と捻れた磁束管の形成: 野沢 恵, 柴田一成(愛知教育大), 鷲見治一(STE 研)
- B83 The Initiation of Solar Coronal Mass Ejection: MHD Simulation of Dis-Equilibrium in a Magnetic Arcade: パンバン・セティアハディ, 末松芳法, 桜井 隆(国立天文台)

### 第3日 10月18日(木) 午後1時より B 会場

- B83 地球大気による探照燈問題の初期値解: 上野季夫(京都コンピュータ学院)
- B84 地球環境系の天文学: 浦田健二(常葉学園大), 海野和二郎(近畿大)
- B85 巨大惑星の物性: 水素-ヘリウム混合系の相図: 佐藤 堅, 一丸節夫(東大理)
- B86 微惑星の衝突及び潮汐破壊 II: 渡邊誠一郎(山形大理), 観山正見(国立天文台)
- B87 原始巨大惑星へのガス流入過程: 観山正見(国立天文台), D. N. C. Lin(カリフォルニア大サンタクルツ)
- B88 木星北温帯縞白斑についての力学的考察: 浅田 正(九州国際大), 宮崎 勲(農水省邦殖植物防疫事務所)
- B89 火星の短周期気候変動: 岩崎恭輔, 斉藤良一, 中井善寛(花山天文台), 赤羽徳英(飛驒天文台), I. Radiman, E. Panjaitan, S. D. Wiramihardja(Bosscha Observatory)
- B90 長周期彗星の標準光度と数分布: 香西洋樹(国立天文台)
- B91 ハレー彗星のビデオ画像解析: 圓谷文明(北大), 坪谷太郎(筑波大), 磯部秀三(国立天文台)
- B92 オースチン彗星の近赤外線観測によるダストジェットの検出: 渡部潤一<sup>1</sup>, 青木哲郎<sup>2</sup>, 廣本直久<sup>3</sup>, 高見英樹<sup>3</sup>, 市川伸一<sup>1</sup> (<sup>1</sup> 国立天文台, <sup>2</sup> 東大理, <sup>3</sup> 通信総研)
- B93 オースチン彗星 1989C1 の C<sub>2</sub> ジェットの検出: 鈴木文二(越ヶ谷高), 栗原 浩(神奈川工業), 渡部潤一(国立天文台)
- B94 オースチン彗星(1981C1)の光度変化と蒸発モデル: 長谷川 均(アステック), 渡部潤一(国立天文台)
- B95 オースチン彗星(1989C1)の偏光観測: 菊池 仙(国立天文台), 岡崎 彰(群馬大教育), 近藤雅之(東大理), 平田龍幸(京大理)
- B96 粗い粒子による彗星偏光観測の解析: 向井 正, 向井苑生(金沢工大), 菊池 仙(国立天文台)
- B97 波長 10 μm のシリケート・バンドの形状依存性: 松村雅文(大阪市立科学館), 関 宗蔵(東北大教養)

### 第4日 10月19日(金) 午前9時15分より 会場 B

- B98 炭素星 IRC+10216 周辺部のラインサーベイ観測: 川口建太郎, 石川晋一, 海部宜男, 宮澤敬輔, 鈴木博子(国立天文台野辺山), 大石雅寿(富山大理), 平原靖大(東大理)
- B99 炭素星辺部の炭素鎖分子の観測: 深作貞文(東大理), 川口建太郎(国立天文台野辺山), 泉浦秀行(東京学芸大), 浮田信治, 海部宜男(国立天文台野辺山)
- B100 IRC+10216 の CS 高分解能観測: 春日 隆(国立天文台野辺山), 高野秀路, 三上人巳(名大理)



## 会場 A (B1 小ホール)

- A99 Automated Image Measuring System: 土居 守(東大理), 岡村定矩, 樽沢賢一(東大理木曾), 福来正孝(京大基研)
- A100 大気によって乱された光波面の測定: 高遠徳尚<sup>1</sup>, 青木 勉<sup>2</sup>, 西原英治<sup>1</sup>, 谷口義明<sup>2</sup>, 家 正則<sup>3</sup> (<sup>1</sup>東大理, <sup>2</sup>東大理木曾, <sup>3</sup>国立天文台)
- A101 About a Speckle Interferometry Program at CRL: J. Souchay, 広本宜久, 高見英樹, 有賀 規(通信総研), 青木哲郎(東大理), D. Gingras (N.I.O. Canada)
- A102 Shift-And-Add 法を用いたスペックル分光法: 桑村 進, 三浦則明, 馬場直志(北大工), 磯部秀三, 野口本和, 乗本祐慈(国立天文台)
- A103 赤外線カメラによるスペックルイメージングシステム: 廣本宜久, 高見英樹, 青木哲郎<sup>1</sup>, 西川 淳, 有賀 規, J. Souchay, D. Gingras<sup>2</sup>, 片堅宏一<sup>3</sup> (通信総研, <sup>1</sup>東大理, <sup>2</sup>N.I.O. Canada, <sup>3</sup>京大理)
- A104 2重星像再生のための Blind Deconvolution 法の修正とフレームの選択: 三浦則明, 金山 亘, 馬場直志(北大工), 磯部秀三, 野口本和, 乗本祐慈(国立天文台)
- A105 電荷蓄積型検出回路を使ったフーリエ分光器: 秋葉 誠, 廣本宜久(通信総研), 村上 浩(宇宙研)
- A106 アパーチャマスクカメラとイメージスタビライザの製作: 西川 淳(通信総研平磯), 早野 裕, 高遠徳尚(東大理), 野口本和(国立天文台堂平), 石黒正人, 森田耕一郎(国立天文台野辺山), 小林秀行(宇宙研), 馬場直志(北大工), 乗本祐慈(国立天文台岡山), 磯部秀三, 家 正則, 小平桂一(国立天文台)
- A107 光学天体干渉計の観測実験 III: 佐藤弘一, 久慈清助(国立天文台)
- A108 近赤外イメージング・ファブリペロ: 菅井 肇, 田中培生(東大理), 高見英樹, 広本宜久(通信総研), 唐牛宏(国立天文台)
- A109 3ミクロン帯プリズム・グレーティング分光偏光計の製作: 小林尚人, 長田哲也(京大理), 佐藤修二(国立天文台), 小林行泰(東大理), 高見英樹(通信総研)
- A110 遠赤外 [C II] サーベイ望遠鏡: BICE: 中川貴雄, 奥田治之, 芝井 広, 矢島信之, 並木道義(宇宙研), 水谷耕平 (IFA/UH), 山下由香利, 土井靖生, 石丸友里(東大理)
- A111 スパイラルアンテナ放射パターン計測: 山本正之, 渡沢恵一(住友重機), 稲谷順司, 坂本彰弘(国立天文台野辺山)

### 第4日 10月19日(金) 午後1時より 会場 A

- A112 60 cm サブミリ波望遠鏡 (5): 林 正彦, 長谷川哲夫, 半田利弘, 阪本成一(東大理)
- A113 新4メートル短ミリ波望遠鏡 I: 福井康雄, 小川英夫, 水野 亮, 河鱒公昭, 西澤和宏, 手嶋芳徳, 土橋一仁, 養島義昭, 今岡啓治, 長濱智生(名大理), 杉谷光司(名市大)
- A114 新4m短ミリ波望遠鏡の計算機システム: 養島義昭, 水野 亮, 福井康雄, 小川英夫, 河鱒公昭, 土橋一仁, 手嶋芳徳, 今岡啓治, 長濱智生(名大理), 杉谷光司(名市大)
- A115 小型アレイアンテナのリモート・コントロール: 渡辺直企, 大師堂経明, 矢野素子, 中島潤一, 乙部英一郎, 土屋 明, 小原啓義(早大教育・理工), 武蔵屋敏雄, 星野哲雄(日本通信機), 長根 潔
- A116 非エルゴートの信号電波源のリアルタイム結像・解析方式の開発: 大師堂経明<sup>1,2</sup>, 遊馬邦之<sup>1,3</sup>, 中島潤一<sup>2</sup>, 矢野素子<sup>2</sup>, 乙部英一郎<sup>2</sup>, 土屋 明<sup>2</sup>, 渡辺直企<sup>2</sup>, 小原啓義<sup>2</sup>, 小松進一<sup>2</sup> (<sup>1</sup>早大教育, <sup>2</sup>早大理工, <sup>3</sup>草加高), 岩瀬清一郎, 西堀一彦(ソニー), 長根 潔
- A117 デジタルレンズ小型アレイによる Real Time 2次元画像: 遊馬邦之(草加高), 大師堂経明, 矢野素子, 中島潤一, 乙部英一郎, 土屋 明, 渡辺直企, 小原啓義(早大教育・理工), 岩瀬清一郎, 西堀一彦(ソニー), 長根 潔
- A118 高安定ミリ秒パルスタイミング観測装置 (2): 阿部ゆう子, 今江理人, 木内 等, 浜 真一(通信総研鹿島)
- A119 VSOP 計画一その現況一: 平林 久, 西村敏光, 広沢春任, 小林秀行(宇宙研), 森本雅樹, 井上 允, 近田義広, 川口則幸(国立天文台)
- A120 VLBI 用簡易型相関器開発の現状: 安田 茂(東北大理), 松本欣也(電通大), 三好 真(東大理), 浅利一善, 阿部 茂, 岩館健三郎, 川口則幸, 久慈清助, 笹尾哲夫, 佐藤克久, 田村良明, 原 忠徳, 宮地竹史, 森本雅樹(国立天文台)
- A121 バースト VLBI 観測システムの開発: 御子柴寅, 近田義寅, 川口則幸(国立天文台野辺山), 木内 等(通信総研鹿島), 高山 尚, 沖原大司郎(ソニー), 永野 厚(ナガノ)
- A122 KNIFE (鹿島-野辺山干渉計)-4 VLBI による H<sub>2</sub>O メーザー観測: 三好 真<sup>1</sup>, 高羽 浩<sup>3</sup>, 浜 真一<sup>3</sup>, 高橋幸雄<sup>3</sup>, 川口則幸<sup>4</sup>, 藤沢健太<sup>1</sup>, 安田 茂<sup>5</sup>, 宮地竹史<sup>4</sup>, 浮田信治<sup>4</sup>, 小林秀行<sup>5</sup>, 森本雅樹<sup>4</sup> (<sup>1</sup>東大理, <sup>3</sup>通信総研鹿島, <sup>4</sup>国立天文台野辺山, <sup>5</sup>東北大理水沢, <sup>6</sup>宇宙研)

## 会場 B (B1 展示室)

- B101 星周辺雲における不揮発性化合物の探査: CaOH 及び SiN: 斎藤修二, 高野秀路, 山本 智 (名大理), 川口建太郎, 石川晋一, 海部宜男 (国立天文台野辺山), 大石雅寿 (富山大理), W. M. Irvine (FCRAO)
- B102 惑星状星雲 NGC 7027 の高分散分光観測: 柴田克典 (国立天文台野辺山), 矢勳丸泰 (東北大理)
- B103 原始星ガス円盤の CS スペクトル高分解能観測: 海部宜男, 林左絵子 (国立天文台光学赤外線), 大橋永芳, 川辺良平, 亀谷 收, 平野尚美 (国立天文台野辺山)
- B104 衝撃波による SO ラジカルの増量: 大石雅寿 (富山大理・国立天文台野辺山), 川口建太郎, 海部宜男 (国立天文台野辺山)
- B105 白鳥座 Globular Filament (GF7) の  $^{13}\text{CO}$  ( $J=1-0$ ) 輝線観測: 平野尚美, 亀谷 收 (国立天文台野辺山)
- B106 暗黒星雲 TMC-1 の分子組成と分布: 平原靖大, 増田彰正 (東大理), 山本智, 高野秀路, 三上人巳 (名大理), 海部宜男 (国立天文台), 川口建太郎, 石川晋一, 大石雅寿 (国立天文台野辺山)
- B107 コメタリー暗黒星雲 L1251 の高感度  $^{13}\text{CO}$  観測: 佐藤文男 (東京学芸大), 今岡啓治, 長濱智生, 福井康雄 (名大理)
- B108  $\rho$  Oph dark cloud の X 線観測: 栗山富成, 小山勝二, 田原 譲, 朝岡育子 (名大理)
- B109 Sgr B2 の SiO 分子線観測 (I): 白鳥 裕 (東大理), 亀谷 收, 平野尚美, 川口建太郎, 森本雅樹 (国立天文台)
- B110 45 m 鏡によるオリオン座分子雲サーベイ (I): 梅本智文<sup>1</sup>, 長谷川哲夫<sup>2</sup>, 林 正彦<sup>3</sup>, 平野尚美<sup>1</sup>, 岩田隆浩<sup>3</sup>, 海部宜男<sup>4</sup>, 亀谷 收<sup>1</sup>, 三上人巳<sup>5</sup>, 村田泰宏<sup>2</sup>, 仲野 誠<sup>6</sup>, 中野武宜<sup>1</sup>, 大橋永芳<sup>1,5</sup>, 砂田和良<sup>2</sup>, 高羽 浩<sup>3</sup>, 立松健一<sup>1</sup>, 山本 智<sup>5</sup> (<sup>1</sup>国立天文台野辺山, <sup>2</sup>東大理, <sup>3</sup>通信総研, <sup>4</sup>国立天文台, <sup>5</sup>名大理, <sup>6</sup>大分大教育)
- B111 45 m 鏡によるオリオン座分子雲サーベイ (II): 立松健一<sup>1</sup>, 長谷川哲夫<sup>2</sup>, 林 正彦<sup>3</sup>, 平野尚美<sup>1</sup>, 岩田隆浩<sup>3</sup>, 海部宜男<sup>4</sup>, 亀谷 收<sup>1</sup>, 三上人巳<sup>5</sup>, 村田泰宏<sup>2</sup>, 仲野 誠<sup>6</sup>, 中野武宜<sup>1</sup>, 大橋永芳<sup>1,5</sup>, 砂田和良<sup>2</sup>, 高羽 浩<sup>3</sup>, 梅本智文<sup>1</sup>, 山本 智<sup>5</sup> (<sup>1</sup>国立天文台野辺山, <sup>2</sup>東大理, <sup>3</sup>通信総研, <sup>4</sup>国立天文台, <sup>5</sup>名大理, <sup>6</sup>大分大教育)
- B112 オリオン分子雲 CO ( $J=2-1$ ) 大規模サーベイ (1): 阪本成一, 長谷川哲夫, 林 正彦, 半田利弘, 砂田和良 (東大理)
- B113 ミリ波干渉計によるおうし座分子雲赤外線源の 98 GHz 連続波, CS ( $J=2-1$ ) 観測 (II) 一原始惑星系星雲の形成一: 大橋永芳<sup>1</sup>, 川辺良平<sup>1</sup>, 林 正彦<sup>2</sup>, 石黒正人<sup>1</sup> (<sup>1</sup>国立天文台野辺山, <sup>2</sup>東大理)
- B114 星生成に伴う暗黒星雲コアの化学変化: 三上人巳, 山本 智, 斎藤修二 (名大理), 梅本智文 (国立天文台野辺山), 平原靖大 (東大理)

### 第4日 10月19日 (金) 午後1時より 会場 B

- B115 暗黒星雲コアにおける  $\text{HN}_2^+$  のスペクトル線サーベイ: 山本 智, 三上人巳, 斎藤修二 (名大理), 平原靖大 (東大理), 川口建太郎, 石川晋一, 大石雅寿 (国立天文台野辺山), 海部宜男 (国立天文台)
- B116 NGC 7538 (IRS1 complex 領域) のミリ波コア: 赤羽賢司<sup>1</sup>, 川辺良平<sup>2</sup>, 大橋永芳<sup>2</sup>, 亀谷 收<sup>2</sup>, 石黒正人<sup>2</sup>, 祖父江義明<sup>3</sup> (<sup>1</sup>富大理, <sup>2</sup>国立天文台野辺山, <sup>3</sup>東大理)
- B117 干渉計による Sgr B2 の CS 観測: 宮脇亮介 (福岡教育大), J. D. Whiteoak (C.S.I.R.O.), 佐藤文男 (東京学芸大), 小林秀行 (宇宙研), 長谷川哲夫 (東大理天文センター), 石黒正人, 浮田信治 (国立天文台野辺山), 村田泰宏 (東大理)
- B118 オリオン星雲内の Na 原子: 磯部秀三, 川上 肇, 乗本祐慈 (国立天文台)
- B119 分子流天体の近赤外線測光に基づく原始星の進化の研究: 小出功史 (中央理工), 磯部秀三, 大島紀夫 (国立天文台)
- B120 原始太陽系星雲の分子ガス: 面高俊宏, 北村良実, 川添英子 (鹿児島大)
- B121 ハービッグ・ハロー天体の分光データの解析 (1) NGC 2264 領域: 小倉勝男 (国学院大)
- B122 銀経=110度付近の巨大分子雲のリング状構造: 亀谷 收, 平野尚美, 海部宜男 (国立天文台), John Bally, Mark W. Pound (AT&T ベル研)
- B123 星間雲中での分子形成: 梅林豊治 (山形大理)

## 会場 A (B1 小ホール)

### 休憩

- A123 電波ヘリオグラフにおける位相較正: 柴崎清登 (国立天文台野辺山), 電波ヘリオグラフグループ  
A124 光ファイバーを用いた電波ヘリオグラフの信号伝送路: 西尾正則, 鳥居近吉, 中島 弘, 川島 進 (国立天文台野辺山)  
A125 電波ヘリオグラフ用アンテナ基礎: 関口英昭, 鯨目信三, 甲斐敬造, 川島 進, 沢 正樹, 塩見靖彦, 篠原徳之, 柴崎清登, 鷹野敏明, 鳥居近吉, 西尾正則, 武士俣 健 (国立天文台)  
A126 鹿島 34 m 鏡ポインティング観測結果: 高羽 浩, 岩田隆浩 (通信総研鹿島)  
A127 野辺山ミリ波干渉計 10 m アンテナの光学ポインティングシステム: 半田一幸, 川辺良平, 神沢富雄 (国立天文台野辺山)  
A128 簡易型 VLBI 相関器用 LSI の開発: 宮地竹史<sup>1</sup>, 川口則幸<sup>1</sup>, 松本欣也<sup>2</sup>, 田中 篤<sup>3</sup> (<sup>1</sup>国立天文台野辺山, <sup>2</sup>電通大, <sup>3</sup>東京エレクトロン)  
A129 1 ビット相関器による変形 2 ビット相関処理アルゴリズム: 川口則幸 (国立天文台野辺山), 松本欣也 (電通大)  
A130 ASTRO-D 搭載用 X 線 CCD カメラの開発: 満田和久, 吉田健二 (宇宙研), 常深 博 (阪大), G. R. Ricker (MIT) 他 ASTRO-D SIS チーム
- 

### ポスターセッション

- P 1 駒場における銀河電波の観測: 伊藤貴志, 奥村幸子, 川野元聡, 橋本伸彦, 林 公平, 増永浩彦, 服部昭人, 西村 治, 戎崎俊一 (東大教養)  
P 2 教科書における天体の位置・運動を表す図: 清水政義 (都立桜町高)  
P 3 衝突軌道のフラクタル構造: 関口昌由 (東大理), 谷川清隆 (国立天文台)  
P 4 木星最高速の風—北温帯流 C に乗った白斑: 佐藤毅彦, 川端 潔 (東理大理)  
P 5 RZ Cas の皆既食: 中村泰久, 鳴沢真也 (福島大教育), 鎌田雅博 (古川四小)  
P 6 回転ポルトロープの安定性 (II): 酒井博隆, 江里口良治 (東大教養), 蜂巢 泉 (京大工)  
P 7 カー・ブラックホールへの MHD 降着: 田村瑞樹, 横沢正芳 (茨城大理)  
P 8 塵を含んだ星周物質と衝突して増光する SN1987A: 伊藤 裕 (京大理), 政井邦昭 (核融合研), 野本憲一 (東大理)  
P 9 Metal Enrichment of Intracluster Medium and Early Galactic Evolution: Habe, A. (Hokudai), Hattori, M. (Riken), Tsujimoto, T., Nomoto, K. (Toudai)  
P 10 Spiral-arm Induced Dynamics—Quasi-Linear State: 千葉証司 (東北大理)  
P 11 Magellanic Irregular Galaxy NGC 4449 の表面測光観測: 佐々木 実, 太田耕司, 斎藤 衛 (京大理)

## 会場 B (B1 展示室)

### 休憩

- B124 減速衝撃波不安定と星生成: 西 亮一 (京大理)
- B125 分子雲における収束衝撃波と星形成: 木村俊哉, 土佐 誠 (東大理)
- B126 減速等温ガス層の自己重力不安定性と星形成: 吉田龍生, 羽部朝男 (北大理)
- B127 等温収縮する円柱状星間ガス雲の安定性 (2): 犬塚修一郎 (東大理), 鶴山正見 (国立天文台)
- B128 光解離領域でのイオン密度と星形成: 中野武宜 (国立天文台野辺山), 福井康雄 (名大理)
- B129 ガス円盤のジーンズパーカー不安定性: 中村文隆, 花輪知幸 (名大理), 中野武宜 (国立天文台野辺山)
- B130 Numerical Simulations of Colliding Stellar Winds: 加藤光也, 坂下志郎 (北大理)
- B131 磁場を考慮した星風と星間物質の相互作用: 藤本裕三, 松田卓也 (京大工)
- B132 形成中の星の磁気圏と磁気降着円盤の相互作用: 広瀬重信, 内田 豊 (東大理), 柴田一成 (愛知教育大), 松元亮治 (千葉大教養), 佐藤哲也 (核融合研)
- B133 Optical Jet の MHD シミュレーション: 藤堂 泰, 内田 豊 (東大理), 佐藤哲也 (核融合研)

---

### (第 3 会議室)

- P12 コンパクト電波源の完全サンプルの波長 3 cm での偏波観測: 奥平敦也 (京大理), 田原博人, 加藤龍司 (宇都宮大教育), 井上 允 (国立天文台野辺山)
- P13 FFT 電波望遠鏡群のバックエンド: 中島潤一, 大師道経<sup>1</sup>, 遊馬邦之<sup>2</sup>, 小原啓義, 矢野素子, 乙部英一郎, 渡辺直企, 土屋 明, 法月惣次郎<sup>3</sup>, 舛藏谷敏雄<sup>4</sup>, 星野哲雄<sup>4</sup>, 阿部安弘<sup>4</sup>, 長根 潔 (早大理工, <sup>1</sup>早大教育, <sup>2</sup>草加高校, <sup>3</sup>法月技研, <sup>4</sup>日本通信機)
- P14 自動光電子午環 CCD マイクロメータの開発: 吉澤正則, 鈴木駿策, 桑原龍一郎, 石崎秀晴 (国立天文台)
- P15 煙突からの排煙(熱)によって生ずる光路異常屈折(光学位置天文観測に与える影響): 石崎秀晴, 鈴木駿策, 宮本昌典 (国立天文台)
- P16 彗星の CCD 画像における星像の除去: 中村 士, 佐々木五郎 (国立天文台), 岡村定矩, 青木 勉 (東大理木曾)
- P17 マイクロレンズアレイの測定: 鳥居泰男, 宮下暁彦, 中桐正夫, 安藤裕康, 山下泰正 (国立天文台)
- P18 512×512 Pt-Si IR Array の性能評価: 笠羽康正 (京大理), 伊藤昌尚 (東大理), 上野宗孝, 佐藤修二 (国立天文台), 木股雅章, 坪内夏郎 (三菱電機 LSI 研)
- P19 PtSi Schottky Barrier 2-dimensional Infrared Array Detector: 上野宗孝 (国立天文台), 伊藤昌尚 (東大理), 笠羽康正 (京大理), 佐藤修二 (国立天文台), 木股雅章, 坪内夏郎 (三菱電機 LSI 研)